

2021(令和3)年度 初任者 SD 研修「大学職員の心得を知り、視野を広げる」 開催報告

日 時： 2021(令和3)年 7月 30日(金)13:00～15:00
会 場： オンライン(Zoom)
企 画 統 括： 浅田 晋太郎氏(研修部会推進委員会 委員長、大阪女学院大学 常務理事・事務局長)
企画コーディネーター： 清水 栄子氏(研修部会推進委員会 委員、追手門学院大学 基盤教育機構/教育開発センター 准教授)
司 会 進 行： 宮原 秀明氏(研修部会推進委員会 副委員長、大阪学院大学 大学事務長代理)
講 師： 岡本 千代恵氏(研修部会推進委員会 委員、関西福祉科学大学 教務部)
申 込 者 数： 19 大学 48 名(うち会員外 3 大学 4 名)
参 加 者 数： 19 大学 47 名(うち会員外 3 大学 4 名)
内 容 詳 細： 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照
実 施 結 果： 同上掲載の「PDF/参加者アンケート」参照
企 画・運 営： 大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員会

今年度の大学コンソーシアム大阪(以下、コンソ大阪という)の「初任者 SD 研修」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、オンライン(Zoom)で実施した。

冒頭に司会の宮原氏より、推進委員長 浅田氏の紹介、また浅田氏より開会挨拶と本研修の趣旨説明があった。



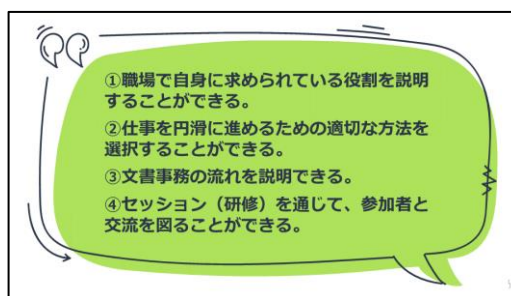
浅田委員長

浅田氏から「昨年より Zoom を活用し研修を行っているが、今年度は、テーマごとに研修を複数回に分けて行うこととした。私は、一般企業勤務後に大学に転職した際、企業と大学との業務内容や進め方等の違いについて戸惑ったことがある。今回の受講者の中には、私と同様に転職された方もおり、この研修が皆さんにとって良い経験になるよう祈っている。」との言葉があった。

続いて、推進委員及び講師の挨拶、自己紹介があった。



岡本講師



到達目標

講義では、大学を取り巻く様々な関係者との協働を行う上でのヒントとして、大学の部署間での業務内容の違いや世代別の特徴も学び、それぞれの違いを認め合って協働することの重要性を学んだ。

次に担当業務を遂行するコツとして、的確に指示を理解し、業務を細分化し進めながらも作業全体を意識して、自分の中で2割ほど作業が進んだ時点で中間報告を相手に行い、適切に業務が遂行できているかを確認する重要性を学んだ。

また、大学職員として業務のなかで多くを占める文書事務の流れについても学んだ。

休憩後、推進委員から自身の経験に照らし合わせた所感などが共有された。

参加者交流ワークとして、クイズの回答をグループ内で考えることで参加者の交流が図られた。



交流ワーク グループワーク「第2問」

2021年大学志願者数ランキングにおいて、関西圏の大学は1～10位に何校ランクインしているでしょうか。

- ① 1校
- ② 2校
- ③ 3校
- ④ 4校

参考：「週刊東洋経済臨時増刊 本当に強い大学2021」（東洋経済新報社）

清水委員より、「研修で学んだことの中には、納得できた点、さらなる疑問点などが出たことだと思う。これらを念頭に置いて、自身の職場や業務でどのように応用できるかを考えてみてほしい。今までの自身の業務への取り組みかたについて研修で学んだこととあわせて振り返り、改善点や工夫が必要な点はその対応策を考え、それをぜひ実践に移して欲しい。」との言葉があった。

浅田委員長からは、「今年度は、数回に分けて初任者SD研修を行う。今後の研修にもぜひ積極的に参加していただきたい。」との言葉があった。



清水委員

最後に、受講者アンケートを実施し、研修を終了した。

後日、受講者には「受講証明書」が配付された。

以上